

魚介類販売業の皆様へ

フグの混入にご注意ください！

スーパーなどで販売された小魚類(豆あじ等)の中に「フグ」が混ざっている事例が相次いでいます。

フグ類はテトロドトキシンという神経毒を持っていることがあり、購入された方が誤って食べた場合、命に関わる健康被害を起こすことがあります。

小魚類(豆あじ等)の販売の際には、フグ等の有毒魚類を確実に排除してください。



参考画像 (小あじパックに混入したシロサバフグ；平成24年市内発生事例)

最近の事例

発生時期	地域	内容	発見
平成26年8月	横浜市	シロサバフグが混入した豆あじが販売されていた	購入した消費者が発見
平成26年8月	大分市	シロサバフグ、コモンフグが混入した豆あじが販売されていた	販売中に販売店が発見
平成26年8月	千葉市	種類不明のフグが混入した小あじが販売されていた	
平成26年9月	大分市	シロサバフグが混入した豆あじが販売されていた	購入した消費者が発見
平成26年9月	京都府	種類不明のフグが混入した豆あじが販売されていた	
平成26年9月	新潟県	種類不明のフグが混入した豆あじが販売されていた	

問い合わせ先

藤沢市保健所生活衛生課 電話0466-50-3594